



校報しののめ 9月号

令和8年9月4日 松山市立東雲小学校



「いい顔」をして活動に取り組もう!!

校長 山内 望

夏休みが終わり、校舎に子どもたちの元気な笑顔が戻ってきました。保護者・地域の皆様のおかげで、大きな事故なく2学期を迎えることができました。

さて、始業式では、子どもたちにスライドも見てもらいながら、次のような話をしました。

1学期の終業式で、「夏休みも命を大切にする」という話をしました。こうして皆さんと元気に2学期がスタートでき、本当にうれしく思っています。

ただし、忘れてはならないことがあります。この夏休み、熊本地震や千葉豪雨など、全国各地で大変な自然災害が起こったことです。そして、多くの大切な命が奪われてしまいました。私たちが今日学校に集まり、仲間とともに新しい学期を迎えられたことは、当たり前のことではありません。とてもかけがえのない、ありがたいことです。

亡くなられた方々に思いをはせるとともに、今生きている私たちが一日一日を大切に、仲間と支え合って生きていくことを誓い、全員で黙とうを捧げたいと思います。児童の皆さんは座ったまま、心の中で祈りましょう。

————— 黙とう —————

さて、先ほど4年生の金子くんが夏休みの思い出や2学期頑張りたいことを立派に発表してくれました。校長先生は夏休み中、甲子園の高校野球をよく見ていましたが、その開会式での選手宣誓が深く心に残っているので、一部を紹介します。

「困難は（下を向く要因ではなく）、前を向き、仲間とともに支え合い、道を切り開く大きな原動力である。私たちはそう信じています。今、野球ができることは決して当たり前ではありません。だからこそ、高校球児は「いい顔」をして野球をしよう。」

つらいことがあっても、仲間がいれば前を向く力に変えられるという、すばらしい言葉です。

2学期、6年生は修学旅行、5年生は集団宿泊活動、1～4年生は遠足、そして全校で取り組む校内音楽会など、大きな行事がたくさんあります。目標に向かって頑張って活動する中で、楽しいことばかりでなく、うまくいかなくて悔しいことや苦しいことがあるかもしれません。そんなときは、ぜひこの言葉を思い出してください。（後略）

最後に、子どもたちには、高校球児が感謝を胸に全力でプレーしたように、仲間とともに、励まし合い、最高の「いい顔」で、すてきな東雲小学校をつくってこう!!と言葉を掛けました。保護者及び地域の皆様、今学期も引き続き本校の教育活動に対して、御理解・御協力をよろしくお願い申し上げます。